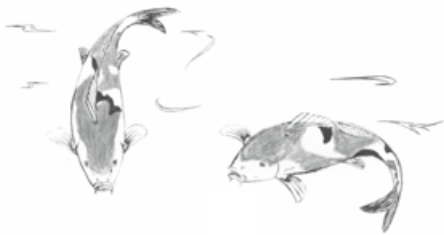

慈 恵



平成30年 No.63



夏

宗教法人 慈 恵 院

付属 多摩犬猫霊園

鑑賞



布袋図

こんな図を展覧会で観られ、それをもとに試作されたものらしい。たぶん布袋図は、この一点のみと思う。

それだけに、画としては熟練不足とはいえ、さすが潑墨よく、新鮮味がある。六十代後半の作であろうか。

横山天啓

書道の本源を求めて、八十余年の生涯を書と禅に捧げた横山天啓翁（雪堂、昭和四十一年八十四歳で死去）は、書における墨気と境界を重んじ、筆禅道を提唱、実践した。世に媚びることなく清貧の中で道を求めた翁の姿は「書仙」の趣があつた。

「禅画報」より

山賊を追いかけて残っていた金を渡す

ある日、所用があつて木曾路を旅していた案山和尚、山中で賊にあつた。するとやにわに着ていた衣を脱いで、さつさと山賊にあたえてしまった。

「サア、これでいいのじゃろう」

といつて、後も見ずにすたすた歩いて行つたが、しばらく行つてから、ふんどしの中に入れておいた金子があるのを思い出した。何を思ったか案山和尚、今きた道をとつてかえし、ふんどしから金を出すと、

「いや、すまん、すまん。ここにもまだあつたわい」

といつて与えた。驚いたのはこの山賊である。手に金をおしつけられたまま、口をあめぐり空けて、和尚の顔を見ていたが、ややあつて、ガバツと地に伏すと、涙ながらにいつた。

「私は狂暴な性格で、今まで人をおどかしては金や着物を奪つてきました。今、生き仏みたいなあなたを見て、おのれの罪深きを知りました。せめて、その罪ほろぼしをしたいと思います。どうかお弟子にして下さい」

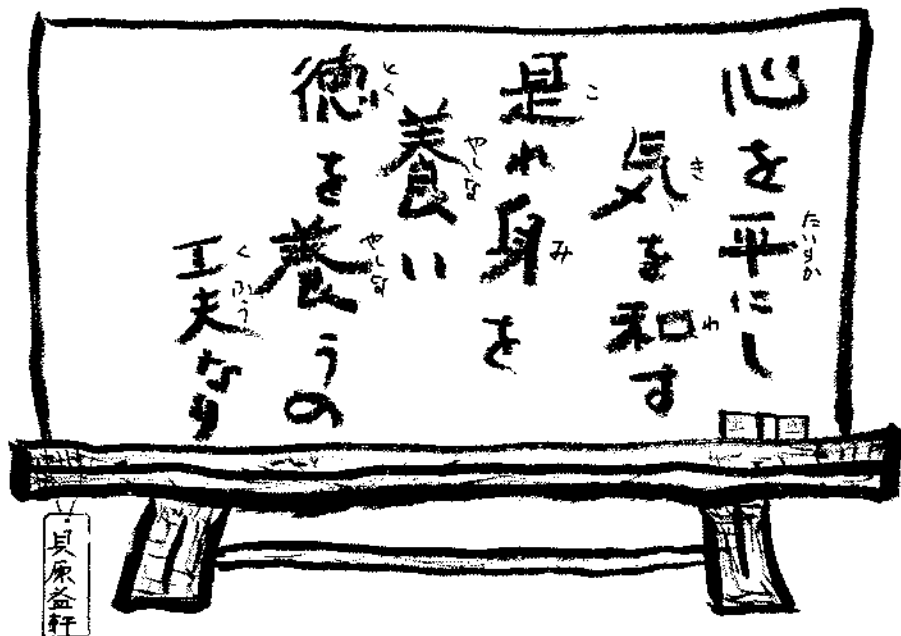
案山和尚は大いに賊の改心を喜び、つねに左右に従えて仏道をさとした。ついにこの賊も立派な僧になつて、沙弥久円と名のつたという。

「禅門逸話集成」より

案山吉道 (二六〇八〜一六七七)

曹洞宗。甲斐の人。上野原保福寺で建州について剃髪。鉄心道印、槩門の即非如一、木庵性瑄などにも参じた。

掲示板





墨田区 稲田 武士(77)

アモ、茶々、マヨ、ヒメ、久、ラン、華、鶴松、そして現在、我家にいる「ラック」が9ひき目の犬です。「マヨ」は、「アモ」と「茶々」の子供で我家で生まれて一生我家ですごしたので一番しあわせだったかもしれません。

です。
私が77歳、妻72歳。「ラック」が最後の犬となるでしょう。

人間は、誰でも死を向かえなくてはなりません。

私が死んだら阿弥陀さまが雲に乗って向かえにきてくれるでしょう。そして阿弥陀さまと一緒に犬達が「お父さんが来たよ！お父さんが来たよ！」と大よろこびで先を競って私の顔をペロペロなめてくれるでしょう。私は心からそう信じているのです。

リク兄ちゃん

三回忌を終えて

平塚市 石井 絵美

リクが旅立って、もう2

年になろうとしています。
天国で元気に走っていますか？

ある日突然、「悪性リン

パ腫」と診断を受け、そこから2か月：本当によく頑張ったね。あの時の事を思い出すと、2年経っても胸が苦しく、涙が止まらなくなりません。「毎日一緒に居たのに、どうしても早くに気付けなかったんだろう…」そんな後悔が三回忌を終えた今でも消えませんが

リクが亡くなった時3歳になったばかりだった娘は、この春5歳になり、年中さんになります。産まれたときから何をするにもずっと一緒に、まるで本当の兄と妹のようで相棒でした。

リクが亡くなった時は理

解ができず、夕方になると「リクちゃん病院に居る？病院に連れて行って。お迎えに行くー。」と毎日毎日泣いていました。1年半近く経った頃、「リクちゃんはお月様になったんだ」と、ようやく理解が出来ました。そこからは毎晩、月を探し、

1日の出来事を月に向かって話しかけています。誰が教えた訳でもないのに、朝は、リクの仏壇の所で「おはよう・行ってきます」と挨拶をしています。私に叱られた時は、仏壇の前で「ママに怒られたあ」なんて、こっそりリクに言いつけています。

リク、全部見てるよね？聞こえてるよね？保育園で悲しくて泣いた時もあった、

先生が「ここ(胸)に居て、いつも見ていてくれてるよ」って教えてくれたって。だから、私がリクが居なくて寂しくなった時は、「ママのここ(胸)にも、リクちゃん居るよ。」って教えてくれたよ。

私は、私たち姉弟の入学・卒業・成人の時にリクと一緒に居てくれたように、娘の七五三・入学・卒業、これからの様々なイベントの時には一緒に居てくれると思っていました。でも今は、もう一緒に居られないけれど、誰よりも近くで見守っていてくれると信じて、少しずつ前を向いて進んでいこうと思います。

作文募集

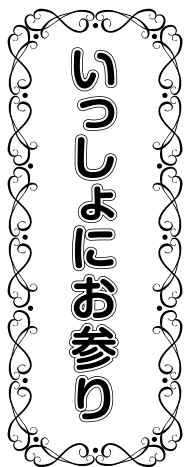
- ペットとの思い出、出来事など作文にしてお寄せ下さい。(800字以内)
- 尚、作文には題名を必ずご記入下さい。
- 応募作品は返却いたしません。
- 住所・氏名・年齢・電話を明記し、慈恵院編集部宛お送り下さい。掲載は随時とさせていただきます。



伊豫部タンゴちゃん(2才♂)



小山内チャーリーちゃん(?才♂)





真野らんらんちゃん(4才♀)



大城すずちゃん(5才♀)

8 月	7 月	6 月	
<p>8 / 12</p> <p>手盥盆会 (旧盆)</p>	<p>7 / 15</p> <p>手盥盆会 (新盆)</p>		当山行事
<p>8 / 23</p> <p>処暑</p> <p>●秋たつや何におどろく 陰陽師(蕪村)</p>	<p>7 / 23</p> <p>大暑</p> <p>●足袋白く埃をさけつ 大暑かな(室生犀星)</p> <p>7 / 7</p> <p>小暑</p> <p>●空梅雨のあけて降りそむ 小暑かな(ひで女)</p>	<p>6 / 21</p> <p>夏至</p> <p>●夏至も亦梅雨の隠微に 倣ふなり(相生垣瓜人)</p> <p>6 / 6</p> <p>芒種</p> <p>●伊賀山や芒種の雲の 不啻(圭岳)</p>	二十四節気
<p>8 / 15</p> <p>終戦記念日</p> <p>8 / 11</p> <p>山の日</p> <p>8 / 9</p> <p>長崎原爆の日</p> <p>8 / 6</p> <p>広島平和記念日</p>	<p>7 / 20</p> <p>土用入り</p> <p>7 / 16</p> <p>海の日</p> <p>7 / 15</p> <p>中元</p> <p>7 / 7</p> <p>七夕の節句 (七夕)</p> <p>7 / 2</p> <p>半夏生</p>	<p>6 / 17</p> <p>父の日</p> <p>6 / 11</p> <p>入梅</p>	祝日等

夏ごよみ